

「本校の研究について」～これからの社会を生き抜く子どもを育てるために～

今年度、昨年度の公開授業の学習指導案は、「研究」のページをご覧ください。また、今年度の研究の成果を、平成31年1月18日（金）の研究発表会でお伝えします。多くの皆様のご来校をお待ちしております。

教科授業地区公開講座

「本校の研究について」  
～これからの社会を生き抜く  
子どもを育てるために～

平成30年10月20日  
文京区立湯島小学校  
校長 原 香織

The poster features a decorative border with colorful flowers and a central photograph of students working at desks in a classroom. The text is presented in a clean, modern font with a mix of colors.

小学校学習指導要領(平成29年3月31日)

Cloud big data Society5.0  
IoT AI

情報活用能力を言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、教科横断的に育成する旨を明記

総則において、各教科等の特質に応じて、プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を計画的に実施することを明記

算数、理科、総合的な学習の時間において、プログラミングを行う学習場面を例示

The infographic uses a color palette of purple, green, and orange. It features a central diagram with five ovals (Cloud, big data, Society5.0, IoT, AI) and a downward-pointing arrow. Three green boxes contain key points from the guidelines.



## 小学校プログラミング教育について

### 1. プログラミング教育の必要性

現在、私たちは、自動販売機やロボット掃除機など、身近な生活の中の様々なものに内蔵されたコンピュータと**プログラミングの働きの恩恵**を受けている。そうした生活の便利さは、プログラミングを通じて人間の意図した処理を行わせることができることを、子供たちに理解できるようにすることが必要である。

### 2. プログラミング教育とは

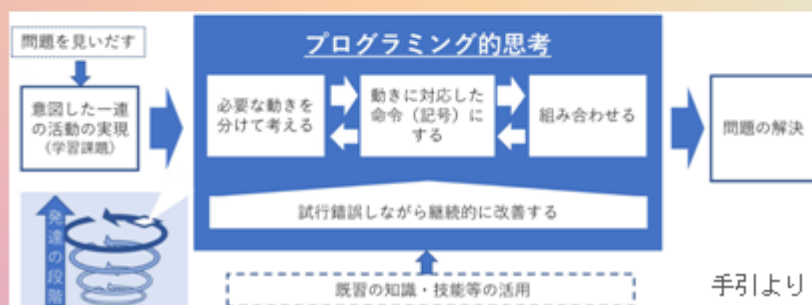
子供たちに、コンピュータに意図した処理を行うよう指示することができるということを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としての「**プログラミング的思考**」などを育成するものである。



## 小学校プログラミング教育について

### 3. プログラミング的思考とは

自分が**意図する一連の活動**を実現するために、**どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、**といったことを**論理的に考えていく力**である。



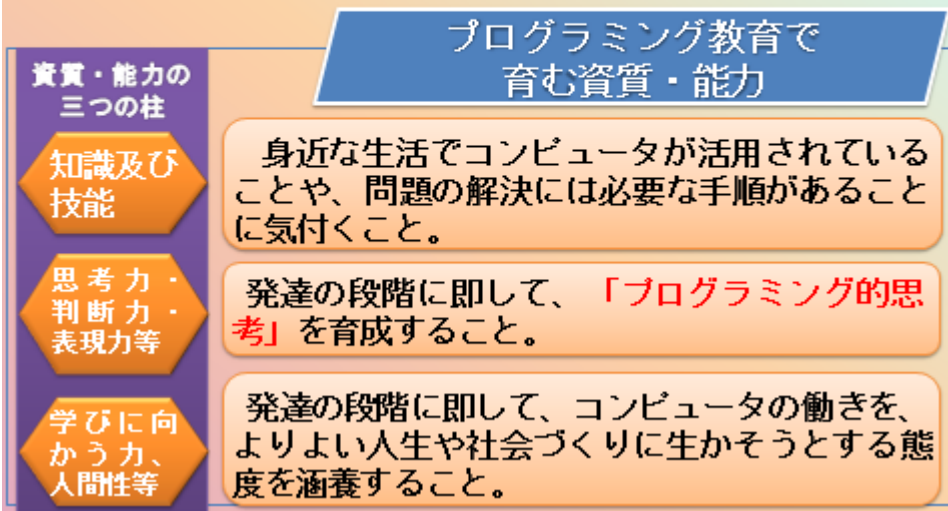


## 情報活用能力の育成



## 小学校プログラミング教育で育む資質・能力

「プログラミング教育で育む資質・能力」を、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱から整理





## 小学校段階のプログラミングに関する 学習活動の分類(例)

第5学年 算数  
第6学年 理科  
総合的な学習の時間

A 学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの

B 学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの

C 各学校の裁量により実施するもの（A、B及びD以外で、教育課程内で実施するもの）

「湯島情報科」

D クラブ活動など、特定の児童を対象として、教育課程内で実施するもの

E 学校を会場とするが、教育課程外のもの

F 学校外でのプログラミングの学習機会

プログラミング世界  
大会へのチャレンジ



## ICTモデル校の研究と「湯島モデル」

ICTを活用した「夢の授業」の実現に向けて

ICTを効果的に活用し  
た授業デザイン  
「湯島モデル」の構築



分かる・楽しい授業を  
デザイン（授業改善）



児童の情報活用能力（情報モラル）の育成



## 授業デザイン「湯島モデル」

主体的・対話的で深い学び  
問題解決学習の流れ

ICTの有効な  
活用方法

学習過程		学習形態		
		一斉学習 (クラスのみみんなで)	個別学習 (1人で)	協働学習 (力を合わせて)
導入	①問題・課題把握 ②予想・見通し	1 導入・一斉	2 導入・個別	3 導入・協働
展開	①自力解決・実験等 ②発表・検討	4 展開・一斉	5 展開・個別	6 展開・協働
終末	①まとめ ②適用・習熟	7 終末・一斉	8 終末・個別	9 終末・協働



## 平成28年度東京都情報モラル推進校の研究

主体的に判断し、  
よりよく情報を活用する児童の育成  
～家庭・地域との連携を通して～

### 学年・家庭のルール作り



情報の科学的理解を踏まえ、  
「湯島小eルール」をVアップ

# 湯島「SNS東京ノート」の活用

低学年用



中学年用



高学年用



第4,5,6学年 LINEによる  
「親子情報モラル教室」



6年生が卒業制作で「eルール」を作成



平成29・30年度 文京区教育研究協力校

みんなを笑顔にする  
プログラミング的思考の育成  
～「湯島情報科」を軸とした  
カリキュラム・マネジメントの工夫を通して～



誰かのために・・・

プログラミングの仕組みを知る

